様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大阪ブレーメン動物専門学校
設置者名	学校法人　野上学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	ペットビジネス学科	夜・通信	２４００時間	１６０時間	
文化教養専門課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	３１２０時間	２４０時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP https://oba.ac.jp/pdf/shirabas_R06osaka.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校

法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大阪ブレーメン動物専門学校
設置者名	学校法人野上学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP https://oba.ac.jp/pdf/jigyouhoukoku_05.pdf 事業報告書５ページ目

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	市第一助役 1998.4.1～2004.3.31 現職　なし	2007 年 9 月 25 日～2025 年 10 月 9 日	コンプライアンス
非常勤	株式会社役員 2000.5.1～2004.3.31 現職　なし	2007 年 9 月 25 日～2025 年 10 月 9 日	企画・調整
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪ブレーメン動物専門学校
設置者名	学校法人野上学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。 授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。 年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。 作成は年度末までに行われ、新年度開始時にウェブサイトにて公表する。	
授業計画書の公表方法	HP https://oba.ac.jp/pdf/shirabas_R06osaka.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価を行なっている。
授業科目の成績評価は、上位より優・良・可・不可の４段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。
前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価を Ｐ（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
授業科目の成績評価は、上位より優（100～90 点）、良（89～80 点）、可（79 点～60 点）、不可（59 点以下）の４段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。
前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価をＰ（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。
成績評価による学業結果のうち、評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。
　履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する
（１００点満点で点数化）

客観的な指標の算出方法の公表方法	HP https://oba.ac.jp/pdf/seiseki.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し，「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。 主体的，自主的，能動的な姿勢が身に付き一定の思考力，判断力，表現力を獲得している。 動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。 卒業要件として、決められた授業時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に基づき、学校長が課程修了の認定を行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	HP https://oba.ac.jp/pdf/jigyouhoukoku_05.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大阪ブレーメン動物専門学校
設置者名	学校法人野上学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP https://oba.ac.jp/pdf/zaimushohyou_R05.pdf
収支計算書又は損益計算書	HP https://oba.ac.jp/pdf/zaimushohyou_R05.pdf
財産目録	HP https://oba.ac.jp/pdf/zaimushohyou_R05.pdf
事業報告書	HP https://oba.ac.jp/pdf/jigyouhoukoku_05.pdf
監事による監査報告（書）	HP https://oba.ac.jp/pdf/zaimushohyou_R05.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		文化教養専門課程	ペットビジネス学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２４００ 単位時間／単位	562 単位時間/単位	単位時間/単位	1838 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	114 人	人	11 人	7 人	18 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。 授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。 年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。
成績評価の基準・方法

（概要） 授業科目の成績評価は、上位より優(100～90 点)、良(89～80 点)、可(79 点～60 点)、不可（59 点以下）の４段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。 前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価をP（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。 成績評価による学業結果のうち､評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し，「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。 主体的，自主的，能動的な姿勢が身に付き一定の思考力，判断力，表現力を獲得している。 動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。 卒業要件として、2400 時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に基づき、学校長が課程修了の認定を行う。
学修支援等
（概要） 学費分割納付制度

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 （100%）	4 人 （ 10.5%）	32 人 （ 84.2%）	2 人 （ 5.3%）

（主な就職、業界等）
ﾄﾘﾐﾝｸﾞｻﾛﾝ､動物病院、ペットショップ等

（就職指導内容）
履歴書添削、模擬面接、企業研修・インターンシップ先の紹介等

（主な学修成果（資格・検定等））
資格取得：C 級グルーマー、B 級プロフェッショナル、ドッグシッター、 愛玩動物看護師

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121 人	9 人	7.4%

（中途退学の主な理由） 進路変更に伴うもの
（中退防止・中退者支援のための取組） 長期間欠席者への面談。経済的支援として分割制度の拡充や学費の納付延納等

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化教養専門課程</td><td colspan="2">愛玩動物看護学科</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">３１２０
単位時間／単位</td><td>２１００
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>１７４０
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">3120 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">90 人</td><td>94 人</td><td>人</td><td colspan="2">11 人</td><td colspan="2">7 人</td><td>18 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。 授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。 年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、上位より優(100～90 点)、良(89～80 点)、可(79 点～60 点)、不可（59 点以下）の４段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。 前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価をP（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。 成績評価による学業結果のうち、評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。
卒業・進級の認定基準

（概要） 本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し，「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。 主体的，自主的，能動的な姿勢が身に付き一定の思考力，判断力，表現力を獲得している。 動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。 卒業要件として、3120 時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に基づき、学校長が課程修了の認定を行う。
学修支援等
（概要） 学費分割納付制度

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等） 等			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	4 人	7.1%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 長期間欠席者への面談。経済的支援として分割制度の拡充や学費の納付延納等		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料	その他	備考（任意記載事項）

		（年間）		
ペットビジネス学科	150,000 円	480,000 円	400,000 円	
愛玩動物看護学科	150,000 円	480,000 円	400,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
学費分割納付制度				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） **HP にて公表** https://oba.ac.jp/pdf/ school_jikohyoka_R04osaka.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価委員会（定数４名） 1. 大阪ブレーメン動物専門学校自己評価報告書に基づき、教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行う。 2. 学校が設定した評価項目（学校運営・教育活動・学習成果・財務等）の達成及び取組み状況を点検する。 3. 自己評価をもとに、その内容において分析・考察を行う。 4. 今後の課題と改善策を示し、教育活動・学校運営の質向上に役立てる 5. 委員は卒業生、在校生保護者、地域住民、企業関係者等から選出される。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社貴志商店 代表取締役	令和４年４月１日～ 令和７年３月 31 日 任期更新	企業役員
ローズサマンサ オーナー	令和４年４月１日～ 令和７年３月 31 日 任期更新	企業役員
ドッグサロン アプリコット	令和４年４月１日～ 令和７年３月 31 日 任期更新	卒業生
あけぼの動物病院	令和４年４月１日～ 令和７年３月 31 日 任期更新	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） **HP にて公表** https://oba.ac.jp/pdf/ school_hyoka_R04osaka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.oba.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310002235
学校名（○○大学 等）	大阪ブレーメン動物専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　野上学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		39人	35人	39人
内訳	第Ⅰ区分	20人	18人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				39人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	－
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	－

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－	0人	－
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	－	0人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。